

●フードドライブ活動

9月30日に佐藤進社会奉仕委員長と大森俊明会員が、並木やすらぎの家へフードドライブ活動で集まった物を届けました。



●大相撲観戦

青少年交換留学生のJUNIさんが、増井真也会員と大相撲観戦に行ってきました。



🌀10月の運勢 香穂会員

10月8日～11月7日迄の九気星の運勢は以下の通りとなっております。

- ★一白水星・・・業務、社会活動多忙の月。心身過労に気を付けて下さい。
- ★二黒土星・・・共同提携、娯楽、趣味、恋愛、結婚等、悦び多い月。消費散財に注意。
- ★三碧木星・・・新旧交代、世代交代、相続親族問題が起きやすい月。整理整頓する月。
- ★四緑木星・・・公的な活動多忙。秩序、規律、知識や資格を習得すると吉。
- ★五黄土星・・・連帯、共同、提携、合併に良い月。スキルアップする為の技能技術取得月。
- ★六白金星・・・職場、仕事、スタッフ、母親、妻、家庭の悩み多い月。親睦和合心がけて
- ★七赤金星・・・新規活動、新規分野の開拓の月。新規事を始めるのに良い月。
- ★八白土星・・・活動多忙交際運ですが多忙すぎていい加減になり信用失墜にならぬ様注意。
- ★九紫火星・・・結実と成果、終結と決着の月ですが新規事は避けて現状維持が良いでしょう。

皆様にとって良い月でありますように祈っております。

🌀今週の当番

SAA 多田竜一委員長 **出席委員** 丸山恵美子委員長、石黒淨明委員、大森俊明委員 **ニコニコ委員** 石井良輔委員、小見山祐紀委員



🌀幹事報告 大竹純副幹事

幹事報告をご覧ください。

- 10月12日は休会になります。
- 26日の例会は29日の市産品フェアでの第11グループ奉仕事業へ振替になります。
- 本日例会終了後、規則委員会と65周年実行委員会があります。
- 10月5日例会終了後SAA委員会とプログラム委員会があります。
- 10月5日に18:00よりオサムサンで写真同好会があります。



🌀例会予定

◎10月19日 **卓話:山家聡会員/大石雅寛会員**

定例会
場 所/銀座アスター 点 鐘/ 12:30 ※12日は休会です

◎10月29日 **市産品フェアにて募金活動など**
川口市産品フェア ※26日を第11グループ合同奉仕活動に振替
会 場/ 川口オートレース場 時 間/ 12:00～14:30(川口RC担当時間)

🌀出席報告

本日分 **9月28日**
会員数 **103名**
会場参加 **41名**
Zoom参加 **1名**
Make-Up **2名**
出席率 **45.36%**

●事務局

〒332-0012
川口市本町1-18-5 NTTビル1F
TEL 048-222-0124
FAX 048-222-0118
http://www.kawaguchi-rc.com
E-mail krc2770@plum.plala.or.jp

2023-2024 KAWAGUCHI ROTARY CLUB

Rotary
国際ロータリー第2770地区
第11グループ

KAWAGUCHI
65th

2023-2024年度
会長:森 絹子
幹事:請川 かおり



●第3073回 定例会

Weekly Report

No.09

世界に希望を生み出そう

2023年10月5日配布



会長挨拶

会長 森 絹子

今日は、石田清貴様をお客様としてお迎えしております。川口で生まれ川口でお育ちの生粋の川口っ子ですがお仕事の御都合で東京の臨海西ロータリークラブから来て下さいました。後程、バナー交換もさせて頂きます。

そして、久しぶりにロータリーについてのお話をさせて頂きたいと思います。皆様は毎年の研修会にてロータリーについて学んで居られますので、1905年に誰がどのようにロータリーを作ったかということなどは既に御存知だと思います。今日、私がお話ししたい事はとてもおもしろい記事を読みそのことについて話をさせて頂きたいと思いました。

「決議23-34」が歴史的文書として1923年の声明として手続き要覧に掲載されているという事です。これは1923年米国のセントルイス国際大会において34番目に採択された議案だったそうです。「決議23-34」はロータリーの在り方全般をそっくり表しているとの事でその内容は、

- 1.ロータリーとは何か
- 2.ロータリークラブとは
- 3.国際ロータリー(RI)とは
- 4.奉仕活動の実践とは
- 5.ロータリークラブの自治権
- 6.奉仕活動選択の指針

の6項から成っています。かつてロータリーの内部で身体障がい児への支援の在り方を巡り理論派と実践派の対立があり理論派と実践派に分かれました。

A.理論派は

ロータリーの目的は例会において奉仕の心を作る事であり、奉仕活動は個々の会員がやれば良い。クラブで奉仕活動をする必要はないとの立場を取りました。

B.実践派は

奉仕活動の実践こそがロータリーの目的であると主張。

あわや、ロータリーが2分裂するのではと思われた時、その危機を救ったのが「決議23-34」だったそうです。ロータリーが生まれて18年目にこのような問題が起き、118年たった今、しみじみと先人の歩んで来た道を通して今の私達に求められるものはAかBかの二者択一ではなく、「決議23-34」のようにAもBも取り入れる柔軟な心、頭、姿勢かもしれません。それが、多様性・公平さ・インクルージョンとなり一人一人がロータリアンである事の自覚と自分に何が出来るのかを考え、実践していく事が大切な気が致しました。

